

早春に想うこと

西松布詠

平成十年もまたたく間に先生のお節句を迎える頃となりました。昨年は、三度も日本を離れたせいでどうか。それとも、年のせいなのだろうか？ 日本の風習を見過ごすことが出来なくなりました。ま

ず歳の始めは、着物姿で神妙に初詣。そして節分は、京都の北野天満宮で買った豆を、深夜声をひそめて、ひとりで

鬼は外、福は内へと。まよまよ、今夜も明日の晩も居続ければ、酒と小唄の文句のように、浮かれてばかりいられない心境になってしまった。

今年の二月は美紗の会の本郷さんの弟さんであられる虹染め作家、本郷大田子氏の御長男の披露宴に招かれ、十

ぶり京都へ行った。新しい人生の門出を祝って、想い出に残る宴にしてやりた

いとの大田子氏のお言葉通り、お仲人による新郎新婦の紹介のあとは、従来のようなスピーチは一切なく、金剛流一

門による祝言能「狸々」、私こと西松布詠の「白扇」、私「梅にも春」、三好荒山師の尺八「鶴の巣ごもり」、そして最後は、花柳流の名取であ

りに古都京都でのひとときは、伝統のあるべき姿を私に問いかけてくれた。

披露宴が終わった夜、大田子氏が私達を上七軒の「吉田屋」へ連れて行って下さった。タクシーを降りて、うす

暗い路地にぼんやり格子先の灯だけがゆらゆらしている。閑

まさに江戸時代にタイムスリップしたかのようである。閑に入ると思の敷いてある玄

関先に、夜目にもあてやかな芸妓さんが「おいでやす」と三つ指ついて迎えてくれた。

唄をうたう時、想像する江戸の世界が、まさに、目の前によみがえったかのような一瞬

だった。床の間に結び柳が生けられた座敷に通された私の隣は、

アメリカミネソタ生まれの版画家クリフ・カーフ氏。昭和二十年に来日して以来、京

都・金沢に住む筋金入りの親日家である。先代の大田子氏に着物の良さを教わって

一年中着物を通し、洋服は持っていないとか。「日本は外国にばかり目を向けなくて

もつと世界に独自の素晴らし文化をアピールしなければ駄目です」と流暢な日本語で

叱咤激励されてしまった。昔から茶屋遊びはお大層遊びと言われるが、客と芸妓がお酒

を飲みながら互いの芸を披露し、批評しあって三味線音楽や踊りが盛んになっていった。

その日も、まだ半玉になったばかりという十代の芸妓が、緊張の面持ちで「重ね扇」を踊ってくれた。

それを見るお客は、「これらが楽しみだね。しっかりとお気張りやす」と暖かい言葉をかける。こんな風にして日本の芸能は、育つていったのだと改めて思う。客のひとりが、紋付袴姿で、祝儀の小舞を謡いながら舞い、わが美紗の会の本郷さんが、私の糸で小唄を朗々と唄う。

宴会につきもののカラオケがなくても、障子からしのび

渡る夜のしじまを背景に、京都のひとときの宵をなごやかに過ごした。江戸の音楽をな

りわいとしてみている私、とても過去への幻影としか思っていないかたの世界を目にあたり

りして、浮き世を忘れ遊ぶことの意味をもう一度考えてみようと思った。翌日は帰京

までのわずかな時間、北野天満宮へ。春を思わせる暖かい陽ざしで梅のつぼみがほこ

り、霞都とした香りが漂う中、一對の牛のおしりやなでたり、いくつもある神社

に何度も手を合わせた。学問に何度も手を合わせた。学問の神、菅原道真が祭つてある

神社らしく、受験生や子供、孫の為に一心に祈っている年輩者の姿が印象的だった。

私も数ある神社の中で、猿田彦社という芸能上達の神に

芸の精進を願った。時間まで近くの路地を散歩したが、古い町並がひっそりと息づき、

いつまでもこの町にいたいと思ひ、偶然見つけた上七軒歌舞練場の中へそと入った時

昨夜の舞妓さんの面影がなつかしく目に浮かんだ。

伝統文化は、確かに重くしんどいものだけれど、年月をかけて積み重ねて確立していった風習は、やはり悠久続いて欲しいとつくづく感じた東の間の京都の旅であった。

日立の大きさを

ジョン・ソルト

一月二十三日、布詠さんとの「江戸の宇宙はミステリアス」公演は素晴らしい体験

だった。私は以前、何回か日立を訪れ市長を交えた人々と、個人的な「お座敷」の経験があったので、すでに十人程の友人

がいました。アムハースト大学のミッド

美術館に寄贈したニューヨークに住む八十三歳のウイリアム・グリーン氏の浮世絵コレク

ションのストライドを披露する機会を得たことは嬉しかったけれど、再び友人に逢えたり、私が尊敬する布詠さんと

公演出来たことは、もっと大きな喜びでした。

布詠さんは、サイレンのような美しい声の持主で、十二年前のコンサートで初めて聞かせていただきました。

布詠さんの伝統的な唄と三味線が前衛的な方法で、たえず実験的に行われていること

にいつも驚いており、たとえば、映写機でストライドされた浮世絵と共に、三味線唄うという日立での公演もはじめて

の試みで、少なくとも今までの日本では行われていたこと

という話を私は聞いていません。私が日本語で一時間以上も観衆の前で話したことも初めて

で、一人も立ち去らなかつた。正直に言うところ、ブラスターウムの座席は自由にリクライニングになり、ライトは暗

眠っていたかとは定かではありません。ここではストライドもないので、詳しい話はしませんが、百二枚のストライドを見せ、その合間合間に布詠さんの唄を散りばめました。私は、何枚かの浮世絵の重要な箇所を示せるように、レコーダーを使

い、二・三分ずつ話し、布詠さんは、五枚から十枚のストライドが次々と映される中で唄ってゆきました。浮世絵ストライドの多くは、布詠さんの唄とびつたり調和し、より一層江戸時代の風俗がよみがえり、とてもファン

タステックでした。公演後、私は多くの人がスライドを観ることで、二次元的な世界を体験したけれど、布詠さんの唄を聞くことで、三次元の世界まで観ることが出来た、と言っているのを聞きました。

布詠さんと私は、着物姿で舞台に立ち、公演後花東を委ただきました。スポンサーは、今このストライドに十枚含まれていた素晴らしい浮世絵コレクターでもある高濱氏の会社「金馬車」でしたが、あいに

く社長は東京へ仕事があり、彼の御子息の副社長が、私達をたいない口調で紹介して下さいました。

今回の企画は「金馬車」の創業四十周年記念行事として催されましたが、不景気な昨今、このように実験的なイベントを後援して下さる会社は極めてまれで、「金馬車」の献身と奉仕の心で、この公演が出来たことには素晴らしいことだと思えます。それと同時に

新社屋の一階の広いスペースに市民のためのオープンギヤラリーが設けられたことも。日本にこのような無償のスペースがあることを知って、志の高い会社の精神に触れたように「金馬車」がますます繁栄しますように！と言わず

に感謝申し上げます。布詠さんとの公演後、日立の方や東京・群馬から来て下さった人々が、日立のようにへんびな土地ではない、東京でも同じような公演が出来たら良いのにと行って下さいました。もちろん、東京や他の都市でも出来たら楽しいと思

いますが、私は日立より良い場所を想像できません（なぜなら誰も途中で席を立たなかつたから）。そして実際、私はお世辞でなく、大きなアンテナを持っている日立市に、大きな期待をいだいています。大田センター長は落語を勉強し、周囲の人は彼の冗談に勉強をかかえて笑います。この権威のある地位にいる人は、アメリカでは考えられません。日立の大田センター長や前に述べた企画担当者、宇宙についてのスピーチをする宇宙飛行士を招いたり、種族の生活習慣の話や聞くためにホセ族の酋長を呼んだりすることに、世界の中でも非常に高

い関心を持っています。日立は鋭い切口で実験的な試みをするので、時々、大観衆を呼べないというリスクを背負いながらも文化事業を行っており、私は、そういう彼等の姿勢に敬意を表すると共に、その開拓精神をずっと持ち続けて欲しいと願っています。

私の友人であり、川柳の師でもある滝口悟さん、その中のひとりです。彼は昨年、全国俳句コンクールで優秀賞を得ました。私はその句がとても素晴らしいと思い英訳しました。

写楽様に大きさを放ちたり Like a SHARAKU Face a huzzy Sneeze

写楽のことで、又浮世絵の話に戻りました。それでは、布詠さんに「大きくさめ」の唄を唄っていただきませう。

今後の予定
四月十日
ウエスリン大学志学堂において
アズ・gone アズ・ビフォー (as gone as before)
詩十三味線パーカッションの夕べ
五月十日
お江戸日本橋亭 一・三〇より
初夏のおとずれ
「日本の音と踊りを楽しむ」
「ぐち」ゆき
（坂東田代による舞の地方演奏）
五月二十九日〜三十一日
第二十回 日本文化デザイン会議（秋田）
三味線のエロス―浮世絵の世界
共演・浅葉克己、照沼太佳子
ジョン・ソルト
六月四日
華の会―開崎ひで女一門の会
国立小劇場

CD SILK SOUL
すでに発売されたカセット、テープ「SILK SOUL」の改訂版であらたに「ぐち」を加工し、「ゆき」「黒髪」「名護屋帯」「ゆき」「柳々」を録音いたしました。皆様是非お聞き下さい！
定価 三、〇〇〇円 25\$

CD SILK SOUL
すでに発売されたカセット、テープ「SILK SOUL」の改訂版であらたに「ぐち」を加工し、「ゆき」「黒髪」「名護屋帯」「ゆき」「柳々」を録音いたしました。皆様是非お聞き下さい！
定価 三、〇〇〇円 25\$

CD SILK SOUL
すでに発売されたカセット、テープ「SILK SOUL」の改訂版であらたに「ぐち」を加工し、「ゆき」「黒髪」「名護屋帯」「ゆき」「柳々」を録音いたしました。皆様是非お聞き下さい！
定価 三、〇〇〇円 25\$

CD SILK SOUL
すでに発売されたカセット、テープ「SILK SOUL」の改訂版であらたに「ぐち」を加工し、「ゆき」「黒髪」「名護屋帯」「ゆき」「柳々」を録音いたしました。皆様是非お聞き下さい！
定価 三、〇〇〇円 25\$

CD SILK SOUL
すでに発売されたカセット、テープ「SILK SOUL」の改訂版であらたに「ぐち」を加工し、「ゆき」「黒髪」「名護屋帯」「ゆき」「柳々」を録音いたしました。皆様是非お聞き下さい！
定価 三、〇〇〇円 25\$

CD SILK SOUL
すでに発売されたカセット、テープ「SILK SOUL」の改訂版であらたに「ぐち」を加工し、「ゆき」「黒髪」「名護屋帯」「ゆき」「柳々」を録音いたしました。皆様是非お聞き下さい！
定価 三、〇〇〇円 25\$

CD SILK SOUL
すでに発売されたカセット、テープ「SILK SOUL」の改訂版であらたに「ぐち」を加工し、「ゆき」「黒髪」「名護屋帯」「ゆき」「柳々」を録音いたしました。皆様是非お聞き下さい！
定価 三、〇〇〇円 25\$

CD SILK SOUL
すでに発売されたカセット、テープ「SILK SOUL」の改訂版であらたに「ぐち」を加工し、「ゆき」「黒髪」「名護屋帯」「ゆき」「柳々」を録音いたしました。皆様是非お聞き下さい！
定価 三、〇〇〇円 25\$

CD SILK SOUL
すでに発売されたカセット、テープ「SILK SOUL」の改訂版であらたに「ぐち」を加工し、「ゆき」「黒髪」「名護屋帯」「ゆき」「柳々」を録音いたしました。皆様是非お聞き下さい！
定価 三、〇〇〇円 25\$